



平成30年11月12日

各位

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
 代表者 代表取締役社長 木船 正彦
 (コード番号 6335)
 問合せ先責任者 経理部長 吉田 豊
 (TEL 03-3451-8143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,840	80	90	40	4.58
今回修正予想(B)	5,800	△170	△50	△80	△9.16
増減額(B-A)	△40	△250	△140	△120	
増減率(%)	△0.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	5,026	△715	△616	△773	△88.62

修正の理由

平成31年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当社においては、主力製品である「カラートップ・オフセット輪転機」シリーズの生産が順調に進捗していることに加えてオーバーホール工事を中心とした保守サービス関連の需要が増加しております。また当社グループ子会社においても(株)東機システムサービスの自動見当制御装置「TRC-6000」やカットオフコントロールシステム「T-CUTTER」の販売が好調なこともあり、業績につきましては堅調に推移しております。

このような状況のもと、売上高においては、課題である年度を通じた売上高の平準化が進み、売上高の下半期偏重が改善され、期初の予想通りとなる見込みです。

利益面においては、前年同四半期と比べ改善が見られたものの、売上高全体に占める保守サービスの比率が高まっている中で、保守サービス関連の工事を伴う案件が工期の関係で当初の予定より下半期に集中することなどの理由により、予想を下回る見込みです。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上